

# ふたつの道の物語。

夜明け前、まだ明けやらぬ空は凜とした静寂を抱き、もうすぐ始まる活動の時間を待っている。朝が近づき、静やかな青一色に包まれていた町が目覚め、淡く色づいて次第にその色を分けて華やいでゆくように、塩川の歴史も、阿賀川舟運と米沢街道のふたつの道の物語からはじまり、やがて、そのにぎわいと活気を増してゆく。

川。ねて。